

(千円)								
No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
1	地域づくり連携推進事業	防災	自主防災組織等支援事業	自主防災組織における必要な資機材の購入、防災士資格取得、水害等避難行動タイムラインの作成などの取組みに対して補助を行う。(R4拡充) ＜対象経費＞ ・自主防災組織支援補助金(防災資機材購入等経費、防災士資格取得経費、タイムライン等作成経費):1,715千円	1,715	800	・資機材購入、修繕(31団体)1,581千円 ・防災士資格取得(4団体)85千円 ・タイムライン作成(1団体)49千円	・成果指標「自主防災組織を構成する行政区数225組織」に対し、令和5年度に新たに1組織設立し、計173組織設立できた。 ・成果指標「水害等避難行動タイムライン作成地区200地区」に対し、令和5年度に新たに23地区作成し、計137地区作成できた。 ・以上のこと等を促進したことで地域防災力の向上を図ることができた。
2	地域づくり連携推進事業	防災	災害時要配慮者支援事業	災害時に支援を要する要配慮者支援体制を確立することを目指し、台帳の定期更新及び個別避難計画の充実を行い、災害に備えた地域や福祉事業所等の協力体制づくりを行う。(R4拡充) ＜対象経費＞ ・報償費、消耗品費、通信運搬費、システム保守委託料、ライセンス使用料:943千円	943	400	・区長、民生児童委員、福祉事業所の協力のもと、避難行動要支援者登録台帳の定期更新を完了(個別避難計画の策定済数1,255人)し、災害時要支援者の避難誘導等の体制を整えるとともに、地域住民の意識向上を図ることができた。	・成果指標「災害時要支援者の登録率98%」に対し、年度末時点の登録率98%を達成することができた。
3	地域づくり連携推進事業	子育て応援	男性育休取得促進事業	男性育休取得促進のためのワークショップやセミナーの開催、啓発冊子の増刷を行い、市民の意識啓発や企業への育児休業取得促進について働きかけを行う。 ＜対象経費＞ ・セミナー経費:269千円 ・啓発冊子経費:65千円	334	167	・市作成「男性のための育休HANDBOOK」活用セミナーを開催した(3回実施 参加者45人) ・母子手帳交付時に「男性の育休HANDBOOK」を配布した	・成果指標「市内事業所における男性の育児休業取得率30%」に対し、令和3年度8.8%、令和4年度14.0%で目標到達はかなわなかったが、小規模企業での取得者、長期間の取得者の割合が増えていることや時短勤務の実施など、自分に合ったスタイルで育休を取得をする男性が増え、少しずつではあるが制度の理解を広めることができた。
4	地域づくり連携推進事業	子育て応援	放課後児童クラブ休日開所事業	市内1か所の放課後児童クラブで日曜日及び祝日に開設し、子育て支援の充実を図る。 ＜対象経費＞ ・放課後児童健全育成事業委託料:1,487千円(休日開所に係る経費のみ)	1,487	700	・待機児童数0人 ・日曜日祝日利用状況(延べ日数)28日 ・日曜日祝日利用状況(延べ人数)71人	・成果指標「放課後児童クラブ待機児童数0の継続」に対し、待機児童数は0を達成できた。 また、日曜日・祝日も1か所で児童クラブを開設し、子育ての支援を行うこともできた。
5	地域づくり連携推進事業	環境	自然環境保全意識啓発事業	市内小学校4年生以上を対象に、市面積の7割を占める森林資源を教材として活用し、森林環境保全に向けた課題やその課題解決策についての学習を実施。 また、内山ブナ林の観察会を年2回(春・秋)実施し、ブナ林が持つ特性や豊かな生態系が育まれていることを知ってもらう。 ＜対象経費＞ ・小学生対象環境学習 64千円 ・ブナ林観察会:60千円	124	60	・新緑のブナ林観察会(5月)、紅葉のブナ林観察会(11月)を実施。 ・23名(春・秋)が参加。	・参加者には知識豊富なガイドからの説明を聞きながらブナ林を散策してもらった。ガイドの詳しい説明を開けたので、個人ではわからなかった新しい発見があったとの感想が多くみられ、ブナ林の特性や豊かな生態系について知ってもらう機会となった。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
6	地域づくり連 携推進事業	環境	環境保全事業	砂浜海岸の保全事業として「一斉クリーン作戦」、「海水浴場清掃美化」、「海岸清掃セミナー事業」、を実施する。 また、ボランティア清掃により回収された海岸漂着物の運搬支援を実施する。 ＜対象経費＞ ・一斉クリーン作戦：632千円 ・海水浴場清掃美化：1,644千円 ・海岸漂着物ボランティア清掃支援：80千円	2,356	1,140	・「一斉クリーン作戦」を6月25日に実施。約300名が参加し、トン土嚢10袋分のゴミを回収。 ・海岸清掃セミナーを4回実施 ・ワンハンドビーチクリーン事業を8つの海水浴場で実施 ・5名以上で構成されるボランティア団体による清掃で集まった海岸漂着物について、最終処分場までの運搬を実施。 ・13回（8団体）の運搬を実施。	・成果指標「年間観光入込客数 令和4年：175万人 ⇒令和9年：240万人」に対し、広域連携による鉄道と連携した誘客キャンペーンや、マスメディアを活用した効果的な情報発信ができた。 ・成果指標「年間宿泊客数 令和4年：35万人 ⇒令和9年：55万人」に対し、旅行商談会で京丹後市の観光素材をPRし、観光誘客に向けたPR活動ができた。 ・今までネックとなっていたボランティア団体による海岸漂着物の回収について、運搬支援を開始したことにより、市内外問わず多くの方にボランティア活動が行いやすい環境を整えることができた。
7	地域づくり連 携推進事業	地域・産 業創造	テレワーク推進事業	持続可能なビジネスモデルの構築を目指した事業の推進及びテレワーク環境の整備等の支援を実施。 ＜対象経費＞ ・コーディネート業務委託料：7,890千円	7,890	3,900	・ワーケーションプログラム実施件数9件 ・企業研修プログラム実施件数 3件 ・都市部プロモーション実施件数 7件 ・人材誘致活動（企業訪問数） 69社	・成果指標「サテライトオフィス誘致件数（累計）令和元年度：― ⇒ 令和6年度：12件」に対し、1件となっている。 ・成果指標「テレワークを活用した新たなビジネスモデルの実践件数（累計）令和元年度：― ⇒ 令和6年度：8件」に対し、4件となっており、一定進捗している。 ・成果指標「ビジネスセンター利用者数（累計）令和元年度：― ⇒ 令和6年度：4,700人」に対し、7,565人となっており目標を達成している。
8	地域づくり連 携推進事業	地域・産 業創造	滞在型観光地づくり推進事業	滞在型観光地づくりを推進する各種事業を実施。 ＜対象経費＞ ・観光業等活性化推進事業補助金：1,440千円 ・木津川市・京丹後市交流事業協議会負担金：849千円 ・滞在観光地づくり「宿泊プラス1」造成支援補助金：300千円 ・海水浴場開設者支援事業補助金：8,749千円 ・海業振興事業補助金：2,513千円	13,851	6,903	・観光業等活性化推進事業補助金を10件交付。（400千円×2件、80千円×8件） ・木津川市×京丹後市フレンドシップキャンペーンにより100組（405人泊）の宿泊。 ・「宿泊プラス1」造成支援補助金により3件の宿泊事業者のサービスの高付加価値化を支援。 ・15海水浴場の内、14か所で開設。 ・海水浴開設者対象に説明会、懇談会を計3回実施。 ・海水浴入込数 昨年度対比98.9%、令和3年度対比117.2% ・海業振興事業補助金を3団体に交付した。	・成果指標「年間観光入込客数 令和4年：175万人 ⇒令和9年：240万人」に対し、広域連携による鉄道と連携した誘客キャンペーンや、マスメディアを活用した効果的な情報発信ができた。 ・成果指標「年間宿泊客数 令和4年：35万人 ⇒令和9年：55万人」に対し、旅行商談会で京丹後市の観光素材をPRし、観光誘客に向けたPR活動ができた。 ・成果指標「海業に係る販売額 平成25年度:16百万円 ⇒ 令和6年度:42百万円」に対し、令和5年度：40百万円の販売額となった。
9	地域づくり連 携推進事業	健康・医 療・福祉	福祉有償運送運営助成事業	在宅高齢者や障害者の外出を支援する福祉有償運送事業に対し、運営費を助成し支援を行う。 ＜対象経費＞ ・福祉有償運送事業費補助金：5,893千円	5,893	2,900	高齢者や障害者の日常生活の移動支援を実施 ・延べ利用回数 4,576回 ・実利用者数 81人	・福祉有償運送事業の運営費に対して助成したことで、高齢者や障害者日常生活の移動支援につなげることができた。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
10	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	市政情報放送事業	コミュニティFM放送の利活用により、地域の出来事や市政情報を効果的に発信する。また、令和元年9月から運用を開始した京丹後市LINE（子育て情報のみ）について、LINEアプリの機能を令和3年10月に拡張しており、市に関する様々なジャンルの情報を、個別の事前登録内容に応じて選別した相手に、的確な市政情報の伝達と発信に活用する。 ＜対象経費＞ ・京丹後コミュニティFM放送委託料：5,412千円 ・LINEアプリ運用経費：924千円	6,336	3,100	・コミュニティFM放送で市政情報を放送 月曜日から金曜日までの1日2回（各5分程度） ・公式LINEにて市に関する様々なジャンルの情報を配信 426件	・成果指標「京丹後市LINE友達登録者数 令和5年度末：5,000人」に対し、7,485人（うちターゲットリーチ数5,353人）の友達登録があり、市外在住者も含めた市政情報を届ける対象者を着実に獲得できた。
11	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	子育て環境整備事業	子育て支援に取り組む団体やイベントの実施、授乳、おむつ替え設備等のための環境整備に対して補助金を交付することで、子育て環境の充実を図る。 ＜対象経費＞ ・子育て環境支援設備整備事業補助金：3,083千円	3,083	1,500	・子育て団体支援事業 2団体 1,332千円 ・子育て活動支援事業 9団体 745千円 ・子育て環境支援施設整備事業 6事業所等 1,006千円	・子育て支援に取り組む団体・個人を支援することにより、地域の子育て支援者や子育て世帯が集い、情報交換や交流の場を提供することができた。 ・市内事業所のおむつ替え施設等の整備を支援し、市内の子育て環境の充実を図ることができた。
12	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	乳幼児健康診査事業	乳幼児の疾病・障害の早期発見と健康の保持増進のため、成長・発達の節目で確認や指導を行うとともに、育児不安の軽減など子育て支援の機会として乳幼児健康診査を実施する。 ＜対象経費＞ ・医師謝金：5,170千円 ・歯科医師謝金：618千円 ・その他経費：910千円	6,698	3,300	・年間を通して、計画的に乳幼児健診を実施した。 4か月児健診278人（22回） 10か月児健診276人（21回） 1歳8か月児健診284人（24回） 2歳6か月児歯科健診299人（24回） 3歳児健診395人（30回）	・各健診の受診率は99.5%～100%となっており、未受診者についても個別にフォローするなど、全数の実態把握と必要な指導を行い、乳幼児の発達や育児不安等の軽減を図ることができた。
13	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	スクールサポーター等設置事業（小学校・中学校）	児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施するため、スクールサポーター（介護職員）を配置するとともに、教育活動の推進と学校経営の安定を図るため、教員資格のあるスクールサポーター（講師）を配置する。 ＜対象経費＞ ・会計年度任用職員報酬：80,266千円 ・会計年度任用職員職員手当：15,332千円 ・会計年度任用職員共済費：16,562千円 ・会計年度任用職員費用弁償：3,822千円 ・その他経費：8千円	115,990	57,980	【小学校：計32人配置】 （内訳） 介護30人、講師：2人 【中学校：計27人配置】 （内訳） 介護5人、相談員3人、 小中一貫コーディネーター6人、 部活動指導員12人、事務補助員1人	・必要に応じてスクールサポーターを配置することでよりきめ細やかな指導及び円滑な授業を行うことができた。 ・対象児童生徒に同伴し、安定した学校生活を送ることができるよう介助することができた。
14	地域づくり連携推進事業	生涯現役・共生	国際交流・多文化共生推進事業	多文化共生推進プラン評価検討会議を開催するとともに、京丹後市国際交流協会の活動を支援する。 ＜対象経費＞ ・国際交流協会活動費補助金：4,000千円 ・多文化共生推進プラン評価検討会議開催経費：79千円	4,079	2,000	＜講座・教室＞ ①国際理解教室（9回、397人） ②日本語教室（学習者：35人、延べ参加人数455人） ③外国語講座（3講座、53人） ＜イベント＞ ①人権啓発トークセッション（60人） ②イースターエッグハント（2回、200人） ③米陸軍軍隊演奏会（2回、50人） ④ネパールNIGHT（27人） ⑤ビーチクリーン&交流会（ビーチクリーン58人、交流会34人） ＜多文化共生推進プラン評価検討会議＞ 1回開催	・成果指標「多文化共生に係るイベント等の開催 平成26年度：3回 ⇒ 令和6年度：5回」に対し、令和5年度左記のとおり5回のイベントを開催できた。また、多文化共生推進プラン評価検討会議を開催し、外国人市民の状況、第3次プランに基づく取組状況等について共有を図った。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
15	地域づくり連携推進事業	京都産業	商工業積極展開支援事業	市内事業者の創業、新展開、生産性向上のための設備投資に対して補助金を交付する。 ＜対象経費＞ ・創業等支援補助金：10,941千円 ・商工業支援補助金：3,290千円 ・地域水産物販路拡大支援事業補助金：1,366千円	15,597	7,780	・創業支援事業 8件、空き店舗・空き工場等活用促進事業 5件 ・新商品新製品開発事業 2件、国内外販路開拓促進事業 6件、知的財産権取得支援事業 2件、企業連携開発事業 1件 ・地域水産物販路拡大支援事業補助金を3団体に交付した。	・成果指標「商業年間商品販売額（経済センサス活動調査 卸売業・小売業計）平成28年度：713.4億円 ⇒ 令和6年度：870億円」としている。創業支援事業及び空き店舗・空き工場等活用促進事業においては、飲食店の出店4件、小売卸、製造に関する出店食料品を4件支援しており、成果指標の達成に寄与した。 ・成果指標「海業に係る販売額 平成25年度:16百万円 ⇒ 令和6年度:42百万円」に対し、令和5年度：40百万円の販売額となった。
16	地域づくり連携推進事業	京都産業	企業立地推進事業	雇用の創出や地域産業への経済波及効果を見込める事業所の新增設を支援する。 ＜対象経費＞ ・企業立地助成金：3,000千円 ・企業立地奨励金：16,460千円	19,460	9,700	・企業立地助成金交付件数 1件 ・企業立地奨励金交付案件数 7件	・成果指標「製造品出荷額（工業統計調査基準）平成29年度：767.2億円 ⇒ 令和6年度：880億円」としている。企業立地奨励金の交付により、生産設備等の新規取得、増設を支援しており、成果指標の達成に寄与している。 ・成果指標「年平均地元有効求人倍率 令和元年度平均：1.47 ⇒ 令和6年度：1.00以上」に対し、令和5年度は平均1.25となっており、企業立地助成金の交付により雇用の創出を促進しており、成果指標の達成に寄与している。
17	地域づくり連携推進事業	京都産業	地域農業プラットフォーム推進事業	市内農業者の生産強化、流通販売に対する支援を行う。（R5拡充） ＜対象経費＞ ・地域農業振興事業補助金：9,318千円	9,318	4,600	・市内農業者に対し、33件（生産強化支援28件、流通販売支援5件）の補助金を交付した。	・市内農業者の機械等導入や加工品開発を支援し、生産拡大や販路拡大等の経営規模拡大につながった。
18	地域づくり連携推進事業	文化の力	文化芸術振興事業	文化活動を行う各種団体を支援し、文化芸術活動の振興を図る。 ＜対象経費＞ ・丹後文化事業団運営費補助金：30千円 ・京丹後市文化協会活動補助金：1,498千円 ・京丹後文化のまちづくり推進事業補助金：50千円 ・丹後文化芸術祭実行委員会補助金：1,300千円 ・丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金：300千円	3,178	1,580	・丹後文化事業団運営補助金：人件費、施設管理費等の運営経費を支援 ・京丹後市文化協会活動補助金：加盟団体112団体の運営経費を支援 ・京丹後文化のまちづくり推進事業：閉校になった学校の校歌保存事業を支援 ・丹後文化芸術祭実行委員会：舞台6事業、展示2事業、セミナー1事業を支援 ・丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金：TANGOまるっぽ美術館による展示を支援	・優れた文化芸術を鑑賞・体験できる機会の提供及び地域文化活動の普及・振興を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。 ・京丹後市文化芸術振興計画を適正かつ効果的に推進し、文化芸術によるまちづくりを進めるため京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議が発足した。 ・京都府丹後文化事業団及び京丹後市文化協会等、各団体の自立運営に向けた支援を行うことができた。
19	地域づくり連携推進事業	文化の力	高齢者教育事業	高齢者の社会参加やその知識・経験を生かした地域活動を推進するため、高齢者教育を実施する。 ＜対象経費＞ ・講師等謝金：1,579千円 ・バス運転委託料：417千円 ・その他経費：422千円	2,418	800	・高齢者大学の登録者数は464人（令和6年3月31日現在） ・一般講座の開催は47回、延べ参加者数1,720人 ・教養講座は、計52講座、延べ開催数474回、延べ参加者数は5,279人	・高齢者の社会参加を促進し、健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進するため、高齢者の学習と交流の機会を提供できた。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
20	地域づくり連 携推進事業	その他	スポーツイベント推進事 業	年代や目的に応じて気軽に親しめるスポーツ機会の提供及び 観光分野と連携した各種スポーツイベントの開催を支援し、本 市の魅力発信と交流人口の増加を図る。 ＜対象経費＞ ・地域スポーツ推進事業：5,051千円 ・京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会補助金：1,700千円 ・丹後100K mウルトラマラソン大会開催支援：740千円 ・丹後大学駅伝開催支援：600千円 ・久美浜湾一周駅伝競走大会開催：1,350千円 ・全国高等学校カヌー長距離選手権大会補助金：300千円 ・パラカヌーサポーター講習会開催：130千円 ・パラスポーツ体験会開催：140千円 ・ワールドマスターズゲームズ京丹後市実行委員会補助金： 2,090千円	12,101	4,800	・地域スポーツ推進事業：市長杯中学 生野球大会5/27・28開催、市民陸上大 会7/9開催、市総合スポーツ大会5/1～ 2/29開催他 ・京丹後市ドラゴンカヌー選手権大 会：8/5開催（参加者等：64チーム、 768人） ・丹後100K mウルトラマラソン大会： 9/17開催（参加者数2,439人） ・丹後大学駅伝大会：11/18開催（参加 者等23チーム、253人） ・久美浜湾一周駅伝競走大会：11/23開 催（参加者数304人） ・全国高等学校カヌー長距離選手権大 会：3/16・17開催（参加者数134人） ・パラカヌーサポーター講習会：5/21 開催（参加者数20人） ・パラスポーツ体験会：12/16開催（参 加者数39人） ・ワールドマスターズゲームズ京丹後 市実行委員会：2/8総会開催、カヌーマ ラソン選手権大会：5/12・13・14に開 催（参加者数256人）、SUPジャパン オープン：4/15・16開催（参加者数88 人、無料体験会10人）	・成果指標「スポーツイベント参加者 数 令和4年度実績：8,164人」に対 し、令和5年度実績：12,101人」市民 が気軽に参加できるスポーツ事業の実 施および、大会への支援をすることに より、スポーツの機会を提供できた。 また年間を通じて、各種大会を実施 し、参加者の他、応援者、関係者等含 め、多くの参加者を得て、市の魅力発 信等図ることができた。
21	市町村間連携 推進事業		高齢者片道200円レール 事業	市内在住の高齢者が京都丹後鉄道を片道上限200円で利用でき る取組を、丹後地域2市2町（宮津市、与謝野町、伊根町、当 市）で連携して実施する。 ＜申請対象経費＞ ・200円レール事業委託料：7,144千円	7,144	3,538	・200円レール利用者実績 13,484人（2市2町合計：30,659人）	・成果指標「200円レール事業利用者実 績 令和4年度：12,261人 （2市2町合計：30,185人）」に対し、 利用者実績を増やすことができた。
22	市町村間連携 推進事業		観光振興事業	広域観光団体である「北近畿広域観光連盟」に加入し、関係 市町と連携して観光行政の各事業を円滑に推進し、広域的に観 光振興を進める。 ＜対象経費＞ ・負担金：1,108千円	1,108	549	・エリア内周遊拡大に向け、公式サイ ト「まるごと北近畿」や全但バス所有 デジタルサイネージ等を活用した情報 発信 ・旅行会社向けに観光素材の提供 ・自治体、各地域DMO、観光諸団体と連 携による宣伝の強化、及びJR西日本、 WILLER TRAINS、各バス会社、タクシー 会社との連携による旅行商品の造成	・成果指標「年間観光入込客数 令和4 年：175万人 ⇒令和9年：240万人」に 対し、広域連携による鉄道と連携した 誘客キャンペーンや、マスメディアを 活用した効果的な情報発信ができた。 ・成果指標「年間宿泊客数 令和4年： 35万人 ⇒令和9年：55万人」に対し、 旅行商談会で京丹後市の観光素材をPR し、観光誘客に向けたPR活動ができた。
23	行政サービス 改革推進・小 規模市町村支 援事業		近未来技術等導入事業	IOT技術の活用、RPA・AI等の近未来技術を導入し、市役所業 務の効率化を図る。 ＜申請対象経費＞ ・RPAソフトウェア使用料：2,810千円 ・AI-OCRソフトウェア使用料：660千円 ・AI議事録作成支援システム利用料：880千円	4,350	1,875	・RPA：15業務に適用（うち新規3業務 適用、納付書再発行・時間外勤務実績 入力等） ・AI-OCR：新たに10業務に適用（ワケシ接 種申込書、歯科検診票、各種アンケート 等） ・AI議事録：各種会議録等728件875時 間分を処理	・RPA：481時間の削減効果を得た。 ・AI-OCR：約870時間の削減効果を得た (1枚あたり3分時間削減として計算) ・AI議事録：875時間の削減効果を得た （議事作成に会議時間の2倍かかってい たところが1/2となったとして計算）